

【8. 中世ヨーロッパ、安土桃山時代】

この時代のポイントは

「戦乱の社会の中で、ヨーロッパとの接触を経た武士の一部が天下統一を通じて安定的な支配を獲得していく」というところ

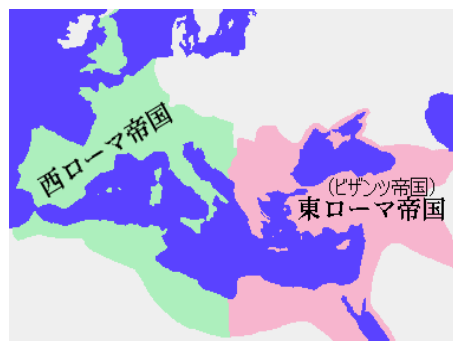
1 キリスト教世界とルネサンス

なぜ日本とヨーロッパとの関わりがこの時代に生じてくるのか??

ローマ帝国が東西に分裂し、キリスト教も_____と_____に分裂

東ローマがイスラム教勢力に押される

西ローマは、キリスト教勢力の領土を取り返すために_____を派遣



戦いが続く中で東西の文化が次第に交流をしていき、新しい文化がヨーロッパに入っていく(これを_____という)。結果として、航海術や印刷術などが発達。

①航海術→ヨーロッパから海を渡り、アメリカやアジアに進出することが可能になる。このような時代を_____という
 ②印刷術→キリスト教内部の改革運動(これを_____といい、_____という新しいキリスト教の宗派が生まれる)の影響(両宗派の布教合戦)がヨーロッパの外にも書物の形で伝えられるようになる。

ヨーロッパからアジア(日本含む)に多くの国が布教や貿易を行うためにやってくる。例えば日本にはカトリックの_____がやってくる。その中で日本に多くのものが伝えられる。

2 ヨーロッパ人との出会い

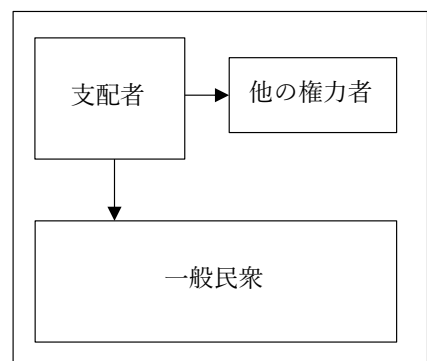
- ①_____の伝来→この武器を活用した_____やその部下の_____が天下統一に近づく
- ②の伝来→この宗教を「信仰する」_____大名の誕生
- ③_____の開始→ヨーロッパや中国、琉球の物品が日本に導入される。

3 織田信長・豊臣秀吉による統一事業

全国を統一し、しっかりと支配を進めるためには

- ・競争相手となる他の権力者
- ・反乱をしてくる可能性のある一般民衆

の二つをうまく統制する必要がある
 →この時代には、その二つの統制が実現しかけていた



①織田信長の統一事業=他の権力者の統制する!

- (1) 室町幕府を滅亡させる = 15代将軍足利義昭の追放
- (2) _____という法律によって、従来の商売で権力を持っていた座を廃止し、いろいろな商人が自由に商業を行えるようにする
- (3) 仏教勢力(比叡山延暦寺など)といった、地方ごとに権力を持っていた勢力を弾圧

②豊臣秀吉の統一事業=一般民衆を統制する!

- (1) _____の実施・・年貢を集める政策。計量用のものさしやますを統一
- (2) _____の実施・・農民が反乱をしないように、武力を武士のみが所有

③統一事業のもとの文化

- 一言でいうと下級武将や新興商人など「成り上がり者」の文化
- (1) 過剰にきらびやか: 豪華な城の建築など
 例: 天にも伸びる_____の設置や
 _____による豪華な屏風
 - (2) 南蛮貿易の影響をうける
 例: 琉球の三味線をつかった音楽である_____

